



vol.62 アイアム

LOGO DESIGN by Aimi Kawagoe

福井市第6次男女共同参画基本計画が始まります!

男女共同参画・
子ども家庭センター 開催講座・イベントレポート



10/23 家庭生活充実支援講座
我が家の
避難スイッチをさがそう



11/4・11 コミュニケーション講座
聴く力をつける
コミュニケーション講座



12/5 家庭生活充実支援講座
家族で楽しく
手作りミートローフ



12/26 子育てパパカレッジ
家族写真を飾ろう

福井市第6次 男女共同参画基本計画 が始まります!



福井市では、これまでの男女共同参画の推進に向けた取組により、市民の男女共同参画意識の醸成は着実に進んでいます。その一方で、地域活動や防災活動等に参画している女性はまだまだ少なく、企業等における女性管理職の割合も低い状況です。本計画においては、このような状況や市民の意識を踏まえ、男女共同参画社会の実現に向けた、さらなる取組の充実を図っていきます。また、SDGs※の視点を踏まえた各種施策を進めていきます。

※SDGs：国連サミットで採択された持続可能な開発目標の略称。持続可能な世界を実現するため、国連に加盟するすべての国が達成する目標として、17のゴール（目標）が定められている。

基本理念

みんなが輝く 幸せを実感できる 「男女共同参画都市」ふくい

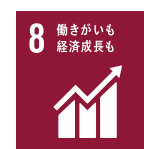
男女共同参画社会の実現のためには、互いに尊重し合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できることが重要です。
未来に向けて、男女があらゆる分野にともに参画し、真に女性が活躍できる、みんなが輝く、幸せを実感できる男女共同参画都市ふくいを目指します。

基本目標

Ⅱ

女性がいきいきと活躍できる社会の実現

女性があらゆる分野において個性と能力を発揮し、いきいきと活躍するために、企業等に向け、女性の積極的な登用やワーク・ライフ・バランスに向けた意識改革を促すとともに、女性のキャリア形成への意欲向上、男性の主体的な家事・育児・介護への参画を促進し、真に女性が活躍できる福井を目指します。



主な施策及び取組

● 政策・方針決定過程への女性の参画拡大

- 市の審議会等において男女の委員数が均衡になるよう進めます
- [Fukurea]※の活用により、企業の女性活躍の取組を促進します
※Fukurea：女性活躍やワーク・ライフ・バランスなど、企業が自社の強み弱みを可視化できる福井市独自のWEB診断システム

● ワーク・ライフ・バランスの推進

- [Fukurea]の活用により、企業の柔軟な働き方への取組を促進します
- 柔軟な働き方や職場環境の整備に向けた講座を開催し、企業の意識改革を図ります

● 女性のキャリア形成支援

- 交流会等を開催し、キャリアアップへの不安解消を図ります
- 結婚・出産等で離職した女性への再就職を支援します

● 男女がともに担う家庭生活づくり

- 「家事・育児シェア見える化シート」の活用により、男性の家事・育児等への参画を促進します
- 子育ての相談、親子が交流できる機会の充実を図ります



基本目標

Ⅲ

安全・安心な暮らしの実現

安全で安心した暮らしを実現するために、防災や災害対応に男女双方の視点を反映した取組を促進するとともに、男女間における暴力等の根絶に取り組みます。併せて、男女が生涯、健康に暮らせるよう支援していきます。

主な施策及び取組

● 防災や災害対応における男女共同参画の推進 NEW

- 自主防災組織等への女性の参画を図ります
- 研修会を開催し、女性に対する防災知識及び技術の向上を図ります

● 男女間における暴力等の根絶 NEW

- DVやハラスメントに関する講座を開催し、正しい知識の普及啓発を図ります
- 暴力等に関する女性の相談等に対し、関係機関と連携して対応します

● 生涯を通じた健康づくり

- 女性特有のがん等の検診受診を勧奨します
- 心身の健康等、女性に関する相談窓口の情報を提供します



基本目標

Ⅰ

男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成

男女共同参画社会を実現するために、市民の生活に最も身近な地域での活動や学校教育の中で、性別による固定化された役割分担意識の解消や、性別や年齢に関わらず、互いを尊重し、理解するための意識醸成を図っていきます。

主な施策及び取組

● 誰もが担う地域社会づくり

- 各地区の男女共同参画推進員が中心となり、地域住民の意識醸成を図ります
- 男女共同参画に関するセミナー等を開催し、市民への意識啓発を図ります
- 講座等を開催し、多様な性的指向・性自認※への理解を促進します NEW

※性的指向：どのような人を好きになるか
性自認：自分の性をどのように認識しているか

● 個性や能力を伸ばす学校教育の推進

- 学校教育全般を通し、男女が互いに尊重しながら学びあう意識を醸成します
- 児童・生徒が性別に関わらず、将来就きたい職業をイメージする機会を提供します





2021年度

男女共同参画・子ども家庭センター 開催講座・イベントレポート

アイアム
編集委員が
取材に行っ
てきました!

コミュニケーション講座〈2回講座〉

開催日: 2021.7/15・29

仕事も家庭も自分らしく

講師: 山口 明彦氏

福井工業大学附属福井高等学校・中学校 教員育成機構長

この講座は、30代～40代の女性を対象に、様々な場面で円滑に物事を進めるためのコミュニケーション能力を培うための講座です。2回シリーズの講座で、1回目でコミュニケーションの基本を、2回目でコミュニケーション力をステップアップさせるトレーニングを行いました。

講師は山口明彦さん。長く学校教育に携わり、受講者参加型の講師を多数経験されています。Well-being (ウエルビーイング) な社会を目指して、コミュニケーション力を高めようという挨拶からスタートしました。

第1回の講座では、参加者同士でコミュニケーションを意識した自己紹介をしたり、実際にキャッチボールをしたりと、身体を動かしながらコミュニケーションの基本を学びました。一方的に受ける講義方式ではなく、講義の中で参加者同士や講師の山口先生と実際にコミュニケーションを取りながら学ぶ講座は、楽しく実践力をつけることができ、満足度が高いものでした。



参加者の声

- ハビリンでチラシを手に取ったのがきっかけで参加しました。このような講座に参加することは初めてでしたが、コロナ禍で仕事環境が大きく変わり、職場内でも個人のスキルアップを求められるようになり、自分の強みを探したいと思っていた時に目に入ったのがこの講座でした。とても実践的だったので、これからの仕事や生活にも活かしていきたいと思います。
- 演習で、皆さんに図形を説明して書いてもらうということをやりましたが、相手に正確に伝えることは思った以上に難しかったです。特に身近な家族に対して、相手側に立ち、丁寧な言葉のキャッチボールを心がけるようにしたいと思いました。

再チャレンジ支援講座〈オンライン開催〉

開催日: 2021.8/30

ポジティブマインドセミナー

講師: 中村 佳織氏

株式会社リフェイス代表取締役

この講座は、再就職に向けてスキルアップを望む女性に対し、必要となる知識や情報を習得できるように実施しています。今回は、「ポジティブなマインドを味方につけてどんどんステップアップしよう」というテーマで、様々な感情のコントロール方法や働く意欲の高め方について学んでいただきました。職場の人間関係や仕事への不満を感じた場合、この講座で学んだ「前向きな考え方や捉え方」が役に立って、働く女性の不安やモヤモヤ感が解消できることを期待しています。



参加者の声

- 元々ネガティブな考え方を持っていて、自己啓発をしたいと思い参加しました。改めて自分の性格を再発見できて、前向きな気持ちになれたと思いました。有難うございました。
- 仕事で嫌なこともありましたが、このセミナーを受講することで前向きになれた気がします。嫌なことも自分にとっての栄養であると捉え、次に繋げて行こうと思います。

子育てパパカレッジ

開催日: 2021.8/1

やってみよう! パラスポーツ
&おとうさんの本音トーク座談会

パラスポーツ講師: 三上 信雄氏

福井県立福井特別支援学校

座談会講師: 舘 直宏氏

NPO法人おっとふあーざー代表

この講座は、父親に子育ての楽しさを実感してもらうことで、父親の積極的な子育てや教育への参加を促すため実施しています。今回は、パラスポーツである「ゴールボール」や「ボッチャ」を親子で体験しました。実際に体を動かすことでお互いの一体感や絆が生まれ、パソコンやテレビの画面を通してではなく、父と子がリアルに触れ合うことが大切であることを実感していただいたようです。

また、お父さんの本音トーク座談会では、家族や同僚には言いにくい話も飛び出し、お父さんたちの情報共有もできました。こうしたことが家庭で話題となり、親子の会話が弾むことを期待します。



参加者の声

- パラスポーツは初めての体験でした。障害のある方に失礼かも知れませんが、素直に楽しく、親子ともども楽しい時間を過ごせました。パラリンピックは家族そろって応援します。
- 本音トークで出た他のお父さんのアイデアを真似したいと思いました。たいへん参考になりました。こうした場をもっと増やしていただけたら有難いです。

管理職準備講座〈3回講座〉

開催日: 2021.9/9・16・30

私のトリセツ 自分を知り、ブレないワタシをつくる
セルフマネジメント

講師: 山内 喜代美氏

株式会社ドリームワークス代表取締役

世界経済フォーラムが毎年発表している男女平等指数の2021年版において、日本は調査対象156カ国のうち120位であり、男女差別が極めて激しいと言われているそうです。なぜ日本では女性リーダーが増えないのでしょうか。福井県内でも若手女性昇進の関心の低さが新聞の記事に取りあげられています。

この講座は、管理職を目指す方や現在その立場にある方を対象に、女性リーダーとして活躍できるようセルフマネジメントを進めていく3回連続講座です。

今回、第1回を取材をさせていただきました。グループディスカッションでは、働く女性として共通のテーマを持っていることもあり、活発に意見を交換していました。その内容は、帰宅時間やコロナ禍特有のテレワーク、趣味、リーダーになることへの思いや仕事の生きがいなど、幅広いものでした。

また、二児の母親でもある山内氏の人生における紆余曲折からのチャレンジの話を知ると、自分も頑張ろうという気持ちになり、大変励まされ元気になる講座でした。



参加者の声

- 大変わかりやすく、楽しく、自分に向き合うことができました。
- すぐく勇気を貰え、私もできるんだと思いました。同じ立場にある管理職の方の不安や悩みを聞いて良かったです。講師の話が参加者のニーズに合っていました。

今からでも遅くない！家庭円満の秘訣

講師：湯原 昌幸氏

今年度の男女共同参画講演会は、グループサウンズ時代から歌や明快な司会で老若男女幅広いファン層を持つ、歌手・タレントの湯原昌幸さんを招いて開催しました。

当日は大雪の悪天候ながら、7月から延期されていた講演会を楽しみに待っていた多数の市民の方々がご来場されました。

内容は、家庭や実母の介護、健康やお金の話まで、ご自身の体験談を少しでも参考にしてほしいと、時には笑いを交えてお話くださいました。そしてトークとトークの合間には懐かしい楽曲から奥様やお母様に向けての曲などを伸びやかな歌声で会場を魅了していました。

おしどり夫婦で知られる奥様の荒木久美子さんとは結婚38周年の湯原さん。年に20回ほど記念日を楽しむ。心地の良い会話のキャッチボールをする。言葉できちんと感謝を伝える。等々、家庭円満の秘訣を教えてくださいました。

湯原さんのトークと歌の講演会をご来場の皆様は、終始楽しんでおられた様子でした。



参加者の声

- 大好きな湯原さんのトークと歌を楽しみにしていたので、開催を心待ちにしていました。やはり今日来て良かったです。
- ありがたいな講演会ではなく、内容や構成がとてもよかったと思います。久しぶりにこのような講演会は心に残りました。やはり湯原さんのトークと歌は素晴らしい！

その他にも様々な講座・イベントを行っております

開催講座については右記QRコードもしくは福井市HPからご覧ください



女性の視点



AI婚活に思う

AI（人工知能）という言葉聞くようになって久しいですが、興味深いことに今や婚活にもAIを用いるとのこと。婚活のマッチングにAIを活用しようという動きです。果たしてAI婚活は、少子化対策の救世主になりえるのでしょうか。

厚生労働省「結婚と出産に関する全国調査（2015年）」によると、結婚する意思のある未婚者が結婚相手に求める条件としては、男女とも「人柄」を考慮・重視する人が最も多いようです。また25～34歳の年齢層では、独身でいる理由として「適当な相手にまだめぐり会わない」とあげています。「人柄」も「適当な相手」もとても曖昧なキーワード。その具体性に乏しい曖昧な条件を、AIがデータを基にしてお勧めするのです。

結婚に向けて自分が考える理想と、AIがデータからお勧めする人物とは違うかもしれません。いったい人は、どれだけ自分自身を理解できているのでしょうか。面白い時代になったものです。

2021年度から、国は自治体が行う「AIを活用した婚活支援事業」を補助金交付で後押ししています。福井県でも、2020年11月にスタートしたふくい婚活サポートセンター（ふく恋）で2021年4月からAI婚活を行っています。希望条件や価値診断テスト（EQアセスメントテスト）の結果を踏まえて、AIにより相性の良い相手を紹介しています。

AI婚活と一口に言ってもやり方は千差万別ですが、従来の視点で紹介されてきた方法とは、また別の切り口でお勧めされることになります。福井の場合は、価値診断テストによって価値観が似ていてより話がはずみやすい相手が見つかることでしょう。AI婚活の今後に期待します。

マッチングシステムでのお相手探しはこちら♪



女性活躍の現場

仕事も家庭も「一期一会」

東京の大手建設会社からUターンし、福井駅近くの一軒家を自らDIYして2015年にゲストハウスを開業。その後結婚、出産し、2児の母に。現在、頭の中で8割を占める子育ても、「一期一会」の瞬間だという森岡さんからお話を伺いました。



森岡 咲子さん
福井ゲストハウスSAMMIE' S経営
座右の銘は「一期一会」

森岡さんにとって、SAMMIE' S（サミーズ）とは？

自分が高校生の時に「あったらいいなあ～」と思った場所。福井の中で、「多様性」を感じられる場所であって欲しいと思っています。

子どもが産まれる前は「この場所を私が守らなきゃ!」と、まるで自分の子どもみたいな存在でしたが、子育てに忙しい今はその想いを手放し、頼もしいスタッフに運営を任せています。皆にとって居心地のいい場所になればよいと思っています。



仕事で大切にしていることはありますか？

自分が考えていることを全て情報開示します。子育てとの兼ね合いで、私に何ができるか出来ないかをスタッフと共有するのです。こうすることで、急なアクシデントにも対応できますし、お互いのサポートがスムーズにできます。いい意味での「公私混同」で、ゲストハウスの運営スケジュールも立てやすくなります。

また、プライベートを共有することでお互いの生活支援ができ、スタッフにパートナーが出来たらその都合も考えてあげられるしね。(笑)

働く現場で何か思うことはありますか？

子どもの「サイン」に気を付けながら仕事をするのは、本当に大変! 子どもが何かやらかしちゃうたり、うまくいかないことも多いけれど、スタッフの対応力やお客さんの寛容性に支えられています。



そもそも、「女性の活躍」というワードには違和感があり、男性目線での働き方が基準になっているように感じます。男性も輝こう! 家庭で(笑)

性別にかかわらず、様々な事情を抱えた人が、それぞれの状況に合わせて柔軟に活躍できる社会であって欲しいと思います。

取材を通して、現場に携わる皆さんが「多様性」を受け入れ、お互いの理解と信頼のもと十分なコミュニケーションがとれ、森岡さんの想い描いていた「場所」が出来上がっていることを感じました。

教えて! となりの家事・育児!

コミュニケーションが要

父親4年目、西澤公太さん



共働き率は全国で1位の福井県ですが、家事・育児の1日当たりの平均時間は、女性が約160分、男性が約20分と8倍ほどの差があることを皆さんはご存じでしょうか。子育て世代の男性の家事・育児について、4歳児の父である福井市役所職員、西澤公太さんにお話を伺いました。

家庭の時間を大切にしたい

育休は2週間取りました。今思うと、もっと取ればよかったなと思っていますが、産後の女性の大変さが身に沁みました。その2週間は何でもしました。3時間おきの授乳時も隣で起きましたね。

子どもが生まれてから全てが変わりました。仕事はしっかり時間内に終わらせて帰れるように。時間に制限があるので、無駄な残業が減り、集中して取り組めるようになりました。今の僕が大切にしたいのは家庭の時間。そこから逆算して、各々の時間の使い方を意識しています。

家族それぞれとのコミュニケーション

家事・育児分担は、決まっていません。妻も今は仕事復帰していますし、その時、元気のある方がやっています。

“お父さんポイント”という独自指標がうちにはあって。「今日は何点だった?」と妻に聞きます。60点のくらの時は、反省点を教えてもらいます。お互いそうやって聞けばいいと思うんです。コミュニケーション、大事ですね。子どもが寝ている時、大した会話ではないですが、夫婦で喋ることを心がけています。

いい時間を過ごさせてもらっています。娘が2歳を過ぎて言葉が通じるようになって、身体をつかった遊びなど、ようやく父親としての役割ができてきたかな。家事で子どもとできそうなものは親子でやっています。最近洋服と一緒にたたんだりしています。大人になった時に、娘と個人としてお互い尊重しながらお酒を飲めるようになったらいいですね。

ワーキングママの子育てエッセイ Part14

2021年、暑く熱い夏でした。コロナ禍で行われた東京オリンピック・パラリンピック。開催の賛否もありましたが、様々な種目で躍動している選手の方々を、テレビの前で家族と声を出しながら応援していたのも、今はなんだか遠い記憶のような気もしています。

今回のオリンピックで特に心に残ったのが、我が子と同じ年齢ほどの10代の子達のはつらつとしたプレー。そして緊張もプレッシャーも物ともせず、ただこの瞬間をとお楽しむ笑顔。どうしても親目線が入ってしまい、10代でオリンピックに育てあげられた親御さん方の子育てについても個人的に関心を持ったものでした。

そのことで以前聞いたことがあり思い出したのが、「子育て四訓」。1.乳児はしっかり肌を離すな。2.幼児は肌を離せ、

手を離すな。3.少年は手を離せ、目を離すな。

4.青年は目を離せ、心を離すな。という、子どもの成長段階に応じた子育て教訓なるもの。

今回活躍された10代の選手の親御さん方はきっと、自分たちの子育てや家族のありかたを信じて育み、そして我が子を信じて手放すことを大切にしておられたのではないかと感じました。

私も2人の子どもが中高生になり、子育て四訓で言う4つ目の「目を離せ、心を離すな」の時期を過ごしております。その前までの段階も含め「離す。離さない。」ができていたかどうか分かりませんが、ただこれからも自分で見聞きし経験を重ね、最後には「度胸と愛嬌」で自分の人生を進んでほしいと、母は勝手に心の中でエールを贈ります。



編集後記

今年度より、男性の編集委員が1名から2名に増えました。男女共同参画というと、多くの方は「女性の問題」と思うかもしれませんが、夫の長時間労働や親の介護など、「男性の問題」が「女性の問題」に直結しています。男女共同参画を進めるためには、何よりも多くの男性にワーク・ライフ・バランスの重要性を認識して頂くことだと思います。こうした願いを込めて編集作業に取り組んでいます。(鎌田)

企画・編集／アイアム編集委員

牛久保 星子 鎌田 正弘
末吉 珠美 向坂 英治
山本 瑞恵 (五十音順)

DVに関する相談機関

夫婦や恋人などからの身体的暴力・精神的暴力・経済的暴力・社会的暴力・性的暴力・子どもを巻き添えにした暴力に対し、下記機関があなたを支援します。

相談機関名		住 所	電話番号	受付時間
福井市ひとり親家庭就業・自立支援センター		福井市大手3-10-1	0776-20-5140	月、水～金曜 9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)
福井市苦情処理機関		福井市手寄1-4-1	0776-20-5353	月～金曜 8:45～17:30 (祝日・年末年始を除く)
配偶者 暴力被害者 支援センター	福井県生活学習館 (ユー・アイふくい)	福井市下六条町14-1	0776-41-7111	火～日曜 9:00～16:45 (第3日曜、祝日の翌日、年末年始を除く)
	福井県総合福祉相談所	福井市光陽2-3-36	0776-24-6261	月～金曜 8:30～17:15 毎日 17:15～22:00
	福井健康福祉センター	福井市西木田2-8-8	0776-36-2857	月～金曜 8:30～17:15 (祝日・年末年始を除く)
福井県警察本部 警察安全相談室		福井市大手3-17-1	#9110または 0776-26-9110	毎日 24時間対応
男性DV電話相談 (DV被害を受けている男性のための相談専用電話)		福井県	080-8690-0287	毎月第1～4水曜 9:00～13:00
福井県人権センター		福井市手寄1-4-1 (アオッサ7階)	0776-29-2111	火～金曜 9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)
福井地方法務局 女性の人権ホットライン		福井市春山1-1-54 (福井春山合同庁舎)	0570-070-810	月～金曜 8:30～17:15 (祝日・年末年始を除く)
公益社団法人 福井被害者支援センター		福井市宝永3-8-1	0120-783-892	月～土曜 10:00～16:00 (祝日・年末年始を除く)
DV相談ナビ (配偶者等からの暴力被害者相談窓口)		内閣府	#8008	最寄りの窓口に自動転送 各機関の相談受付時間
DV相談+ (プラス)		内閣府	0120-279-889	毎日 24時間対応

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」(DV防止法) があなたを守ります。